



生きものの“つぶやき”：
「僕のお花だぞ！」

エッセイ：

ある日、家の玄関に咲いているお花を見てみると花びらの上にショウリョウバッタが乗っていた。その姿はまるで綺麗に咲いたお花を独り占めしているようだった。せっかく、私が毎日水やりをして咲かせたお花なのに。私はその様子を見てアラジンと空飛ぶ絨毯を思い出した。私もこんな綺麗な絨毯に乗ってみたいと思い、思わずバッタに嫉妬してしまった。きっと、その時のバッタの気持ちとしては

「そんなはずなかったのに」という気持ちだろう。しかし、私にはどうしても独り占めしているように見えてしまった。バッタさん、ごめんね…。でもバッタさん、夢の広がる世界へ行ったらっしょい。(273字)

生きものの紹介:

ショウリョウバッタ:バッタ目・バッタ科・ショウリョウバッタ属。日本に分布するバッタの中では最大種で、斜め上に尖った頭部が特徴。

撮影場所・日時:

群馬県みどり市 2024年7月13日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 石島 沙羅
2. 高校・学年: 佐野日本大学高校・1年
3. 所属: 書道部

審査員からのコメント:

バッタが花の上いっぱい脚を広げているところと、つぶやきがよく合っています。写真もきれいです。

大きく広げた足から独り占め感と夢の広がる世界を想像した作者の感性が素敵です。

バッタと花をアラジンと空飛ぶ絨毯に見立てている視点がユニークでした。